

アムウェイ キーン クックウェア ロングハンドルの取り付け方

1.用意する物

①交換が必要な鍋

②交換用のハンドルセット

(フレームガード付きハンドル、ネジ、スペーサー)

※大フライパン用(発注番号4755) とソースパン/中フライパン用(発注番号4754) があるので、鍋に合ったものを用意して下さい。

③プラスのドライバー

※④のタイプより⑤のタイプが作業し易いです。

④厚手の使わなくなったタオル等

※作業時に鍋が滑らないようにするためです。



2. ハンドルの取り外し方

用意したプラスドライバーでネジを外します。

<ポイント>

a. ドライバーは太めのグリップの物を使用すると、力が入りやすいです。

b. ドライバーは金属の軸の長さが10cm以上あると回しやすいです。

c. タオルの上に鍋を立てて作業をする事。



3.ハンドルを取り外した場所をきれいにする

きれいにする時あると便利な物

スクラブライト、ゴム手袋、キッチンペーパー、

綿棒

＜ポイント＞

油汚れなどがこびりついている時があります。そんな場合は、大きめの洗面器などにディッシュドロップを少し加えたお湯に(30分～1時間)つけてから、スクラブライトを使って汚れを落とすと落ちやすくなります。ネジ受けの中の汚れも綿棒で取って下さい。



よくすすいで、水気をしっかり切ってからハンドルを取り付けてください。

4.ハンドルを取り付ける

①新しいスパーサーをネジ受けの溶接部に乗せます。



②新しい交換用のロングハンドルと鍋の向きが一致するように乗せます。



<ポイント>
フライパンは滑らないように、厚手のタオル等の上に立てて行くとやりやすいです。

5. ネジを締める



鍋を立てたまま、鍋が動かないように、片手でハンドルの付け根を抑えながら、**ネジを垂直に入れ、ドライバーを垂直に立て**、力が正しくかかるように最後までゆっくり締めます。

<ポイント>

ドライバーが斜めの状態だと、その時点で軸が斜めにぶれて、ネジが最後まで入っていきません。ドライバーを斜めにせず、しっかりと押さえ回してください。ゆっくりと慎重に回し、ネジが固い場合は押す力を更に強くしてください。力を上から加えながら締めるとしっかり締まります。

ネジが締めきったと思った後に、もう1度上から体重をかけるように力一杯締めて下さい。

ハンドルをもって軽く鍋を揺らしたとき、**カタカタしなければ取り付け完了です。**

カタカタした時は、ネジが途中で傾いており、最後まで垂直に入っていない事が考えられます。再度、ネジを外して始めから締め直しをしてください。